



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流
 コード番号 9055 URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 孝一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 荒川 信一 TEL 045-532-1982
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	38,159	6.4	1,842	△3.6	2,019	7.4	1,050	11.2
25年3月期第2四半期	35,880	5.5	1,911	8.9	1,880	3.0	945	11.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,393百万円 (97.7%) 25年3月期第2四半期 1,210百万円 (15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	59.39	—
25年3月期第2四半期	53.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	60,443	38,463	57.1	1,950.20
25年3月期	58,188	36,631	56.5	1,858.55

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 34,509百万円 25年3月期 32,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
26年3月期	—	17.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	3.6	3,700	3.2	3,750	△7.1	1,950	△17.2	110.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	17,737,200株	25年3月期	17,737,200株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	41,878株	25年3月期	41,878株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	17,695,322株	25年3月期2Q	17,695,426株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月～9月)の世界経済は、米国が好調に推移する一方で、欧州経済の停滞継続、中国など新興国で景気減速傾向が見られるなど、まだら模様の状況となりました。日本においては、昨年末の政権交代に伴う経済対策を受けて、歴史的円高の是正や株価の回復が進み、実体経済面でも、輸出の増加による企業業績の改善や個人消費の増加などによって、徐々に回復してまいりました。

このような経済環境において、当社グループは、「物流価値を活かしグローバル成長を加速する」との基本方針のもとで、グローバル・ネットワークの拡充、独自サービスの深化、新規・深耕拡販や新市場への取り組みなど、引き続きグローバルにビジネスの拡大を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高38,159百万円(前年同期比 6.4%増)、営業利益1,842百万円(同 3.6%減)、経常利益2,019百万円(同 7.4%増)、四半期純利益1,050百万円(同 11.2%増)となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、車載関連が、米国や新興国需要によって好調に推移しております。また、成長商品であるスマートフォンやタブレットPC向けについても、一時的な調整はありましたが夏場に掛けて需要が拡大しました。一方、物流面では、顧客の最適地生産や合理化の進展、機器の統合・小型化、そして各社のサービスの同質化など、厳しい競争環境が継続しました。

このような需要動向のもとで、当社グループは、国内・海外が一体となった拡販活動によって物量拡大を推進するとともに、運送・保管・輸出入各事業それぞれの体質強化を図ってまいりました。

また、成長が続く海外市場では、中国において上海アルプス物流が5月に太倉支店(江蘇省)、9月に深圳支店(広東省)を設立しました。太倉支店では3千㎡強の倉庫を立ち上げ、同地区での新規・深耕拡販を進めております。深圳支店につきましては、華南地区の既存拠点である香港、東莞、広州と連携して、更にきめ細かなサービスを提供し、事業拡大につなげてまいります。北米では、1月のメキシコ・レイノサでの倉庫拡張に続き、4月に米国・マッカレン(テキサス州)の倉庫を約25千㎡の規模に増床しました。好調な車載関連需要を捉え、取扱貨物量を拡大しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上につきましては、海外において中国、アセアン、北米、東アジア各地域が売上を拡大したことにより、全体で増収となりました。利益面では、期初の荷動き停滞による事業効率の低下が影響し、期の後半からは回復したものの、カバーしきれず減益となりました。

当セグメントの売上高は18,115百万円(前年同期比 6.2%増)に、営業利益は1,389百万円(同 8.0%減)となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品関連の包装資材、成形材料、電子デバイスの販売を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネスが、顧客の車載関連の生産が拡大する中で、ニーズを捉えた営業活動を推進し、売上、利益を伸ばしました。

当セグメントの売上高は8,266百万円(前年同期比 12.1%増)に、営業利益は324百万円(同 27.9%増)となりました。

③消費物流事業

消費物流事業を担う(株)流通サービスでは、これまで生協の個配関連を柱として事業拡大を進めてまいりました。ここ数年、小売の宅配や通信販売のマーケットが拡大する中で、多くの物流企業が宅配ビジネスに参入し、競争環境は厳しさを増しています。

このような事業環境において、(株)流通サービスでは、事業方針である「新しいビジネスモデル」の確立に向けて、宅配ニーズの高い首都圏で「RSQ(レスキュー)便」サービスを拡大するなど、体制整備を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、拡販活動によって個配を中心に売上を伸ばしましたが、利益面では新規ビジネスの立ち上げ等による費用増もあり減益となりました。

当セグメントの売上高は11,777百万円(前年同期比 2.8%増)に、営業利益は128百万円(同 12.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

前連結会計年度末と比較した当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

総資産につきましては、利益確保による「現金及び預金」の増加444百万円、売上拡大に伴う「受取手形及び営業未収金」の増加1,631百万円などにより、前連結会計年度末比2,255百万円増の60,443百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が売上拡大に伴う仕入債務の増加などにより1,017百万円の増加、固定負債が長期借入金などの減少により593百万円減少したことによって、負債合計は、前連結会計年度末比423百万円増の21,980百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比1,831百万円増の38,463百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.6ポイント上昇し57.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末の残高は、前連結会計年度末と比べ451百万円増加し、12,637百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,148百万円（前年同期比1,284百万円の収入減）となりました。前年同期比で減少した主な要因は、増収に伴う売掛債権や在庫の増加、その他負債の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は489百万円（前年同期比214百万円の支出減）となりました。主な支出は、車両や物流機器など有形固定資産の取得463百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は767百万円（前年同期比63百万円の支出減）となりました。主な支出は、リース債務の支払202百万円や、当社および子会社における少数株主への配当金の支払い561百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月26日付「平成25年3月期決算短信」で発表しました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,399	12,844
受取手形及び営業未収金	10,996	12,627
商品	997	1,089
その他	2,002	2,120
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	26,363	28,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,069	9,991
土地	14,525	14,553
その他（純額）	3,185	3,197
有形固定資産合計	27,780	27,741
無形固定資産		
のれん	56	45
その他	1,017	1,133
無形固定資産合計	1,074	1,178
投資その他の資産		
投資有価証券	371	415
その他	2,617	2,479
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	2,969	2,875
固定資産合計	31,824	31,794
資産合計	58,188	60,443
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,095	7,002
短期借入金	2,950	3,397
未払法人税等	939	847
賞与引当金	1,324	1,449
役員賞与引当金	—	19
その他	3,438	3,050
流動負債合計	14,749	15,766
固定負債		
長期借入金	2,736	2,294
退職給付引当金	1,573	1,592
役員退職慰労引当金	380	193
その他	2,117	2,132
固定負債合計	6,807	6,213
負債合計	21,556	21,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	2,029	2,029
利益剰余金	29,050	29,791
自己株式	△50	△50
株主資本合計	33,378	34,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	22
為替換算調整勘定	△486	367
その他の包括利益累計額合計	△491	389
少数株主持分	3,743	3,953
純資産合計	36,631	38,463
負債純資産合計	58,188	60,443

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	35,880	38,159
売上原価	31,521	33,624
売上総利益	4,358	4,534
販売費及び一般管理費	2,447	2,691
営業利益	1,911	1,842
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	3	3
為替差益	—	0
保険返戻金	11	208
その他	98	63
営業外収益合計	119	282
営業外費用		
支払利息	82	72
為替差損	32	—
その他	34	33
営業外費用合計	150	106
経常利益	1,880	2,019
特別利益		
固定資産売却益	0	2
補助金収入	14	—
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産除売却損	3	10
減損損失	—	17
固定資産圧縮損	7	—
投資有価証券評価損	9	—
特別損失合計	19	27
税金等調整前四半期純利益	1,876	1,993
法人税、住民税及び事業税	784	733
法人税等調整額	△28	41
法人税等合計	756	774
少数株主損益調整前四半期純利益	1,120	1,219
少数株主利益	174	168
四半期純利益	945	1,050
少数株主利益	174	168
少数株主損益調整前四半期純利益	1,120	1,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	27
為替換算調整勘定	142	1,146
その他の包括利益合計	90	1,173
四半期包括利益	1,210	2,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,000	1,931
少数株主に係る四半期包括利益	210	461

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,876	1,993
減価償却費	918	956
売上債権の増減額(△は増加)	461	△1,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	282	9
仕入債務の増減額(△は減少)	△642	740
その他の負債の増減額(△は減少)	224	△479
その他	503	129
小計	3,624	2,048
利息及び配当金の受取額	8	10
利息の支払額	△82	△68
法人税等の支払額	△1,117	△841
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,432	1,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△658	△463
有形固定資産の売却による収入	84	7
無形固定資産の取得による支出	△162	△142
その他	32	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△704	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200	400
長期借入金の返済による支出	△351	△403
配当金の支払額	△309	△309
少数株主への配当金の支払額	△189	△251
その他	△180	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△831	△767
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	964	451
現金及び現金同等物の期首残高	9,372	12,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,337	12,637

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,057	7,371	11,451	35,880	—	35,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,057	7,371	11,451	35,880	—	35,880
セグメント利益	1,509	253	147	1,911	—	1,911

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,115	8,266	11,777	38,159	—	38,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,115	8,266	11,777	38,159	—	38,159
セグメント利益	1,389	324	128	1,842	—	1,842

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「消費物流事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては17百万円です。